

都市再生整備計画(第1回変更)

志^し摩^ま地区

ふくおかけん いとしまし
福岡県 糸島市

平成26年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	糸島市	地区名	志摩地区	面積	5,455 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 27 年度				

目標

- 【大目標】
 市内にある多彩な観光資源と最新の観光需要を結びつけながら、観光客が安心して観光できる観光基盤の整備を進め、多様で魅力ある観光振興をめざす。
 目標1 観光施設への道路整備を行うことにより、交通アクセス条件や安全性、歩行者の快適性の向上を図る。
 目標2 観光資源の活用や魅力向上のため、観光地への誘導や情報発信、観光施設を整備する。また、観光客を受け入れる側である地域住民の住環境を向上させることにより定住を促進し、観光客基盤整備の促進や交流人口の拡大を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【まちづくりの経緯】

- 本市の北部に位置し、海岸沿いは玄海国立公園に指定され、良好な自然環境が保全されており、自然海岸線は美しい景観を有してた地域である。
- 海岸部は日本の歴史を探索する上での重要な遺跡などの歴史資源が多い地域であると同時に、恵まれた自然環境を活用して新鮮で安心・安全な農林水産物の生産拠点ともなっている。
- 100件を超えるさまざまな工房やギャラリーのほか、飲食店などの商業施設やサービス施設も立地するなど、多様な観光資源を持ち合わせている。
- 九州大学伊都キャンパスが立地する地域東部は、研究・研修施設や大学関連施設などの立地や大学関係者や学生の居住場所として宅地需要が高まりつつある地域である。
- しかしながら、田園や漁村集落においては、集落内の少子高齢化が進行し、コミュニティの維持が困難な地域もあるため、活性化を推進する必要がある。

【現況】

- 岐志をはじめとする4つの漁港では新鮮な魚介類が水揚げされ、冬の時期になると旬の牡蠣を求めて多くの観光客が訪れる。
- 観光客は増加傾向であるが、トイレ、休憩所などのおもてなし施設の整備が遅れている。
- 県道を中心として幹線道路の整備は進んでいるが、幹線道路を結ぶ道路ネットワークの整備が遅れている。
- 志摩地区には、個人で経営している工房やギャラリー等が数多く点在している。
- 糸島市は玄海原子力発電所に近く、志摩地区は一部が30km圏内に入っている。
- 人口減少や高齢化が著しく、住みやすさの向上のための環境整備が求められている。
- 平成22年度に「糸島市観光振興基本計画」を策定し、観光入込客の増加と観光客の満足度を高める取組みを進めている。

課題

- 道路ネットワークの整備が遅れていることから、幹線道路から観光資源へ接続される道路の整備を行う必要がある。
- 観光の取組みを進めるための基盤となる清潔で利用しやすいバリアフリーの公衆トイレ、休憩所などの整備が必要である。
- 糸島に住み続けてもらうためには、安全・安心な住環境の整備が必要である。
- 地域住民との交流や地域の特性を活かした、終日行楽できるイベントの実施が必要である。
- 観光スポットをスムーズに回遊できる観光案内サインの整備が必要である。

将来ビジョン(中長期)

「第1次糸島市長期総合計画」の基本目標の1つに「地域資源を生かした産業創出のまちづくり」を掲げ、豊かな自然環境を生かしたイベントの開催による観光客の長時間の滞在を促すとともに、市全体の観光を振興するために観光基盤整備と各観光施設間のネットワーク化を図ることとしている。また、「第1次糸島市都市計画マスタープラン」の中でも「安全で快適な移動環境の創出」を掲げ、地域のニーズや需要を勘案し、公共交通不便地区の縮小を図る。また、主要な生活ルートの拡幅や歩道の設置などの道路の改善と併せて、観光資源の活性化を図ることとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
観光入込客数	千人/年	観光入込客数の比較(県観光入込客推計)	観光資源の掘り起こし、観光振興を図る指標として、観光入込客を年間10万人増加させる。	4,500	H24	H27
糸島市観光協会HPアクセス数	PV/年	糸島市観光協会が開設するHPアクセス数(ページビュー数)の比較	糸島市観光への注目度や関心度の向上を図る指標として、糸島市観光協会HPアクセス数を年間220万PVに増加させる。	2,020,000	H24	H27

都市再生整備計画の整備方針等

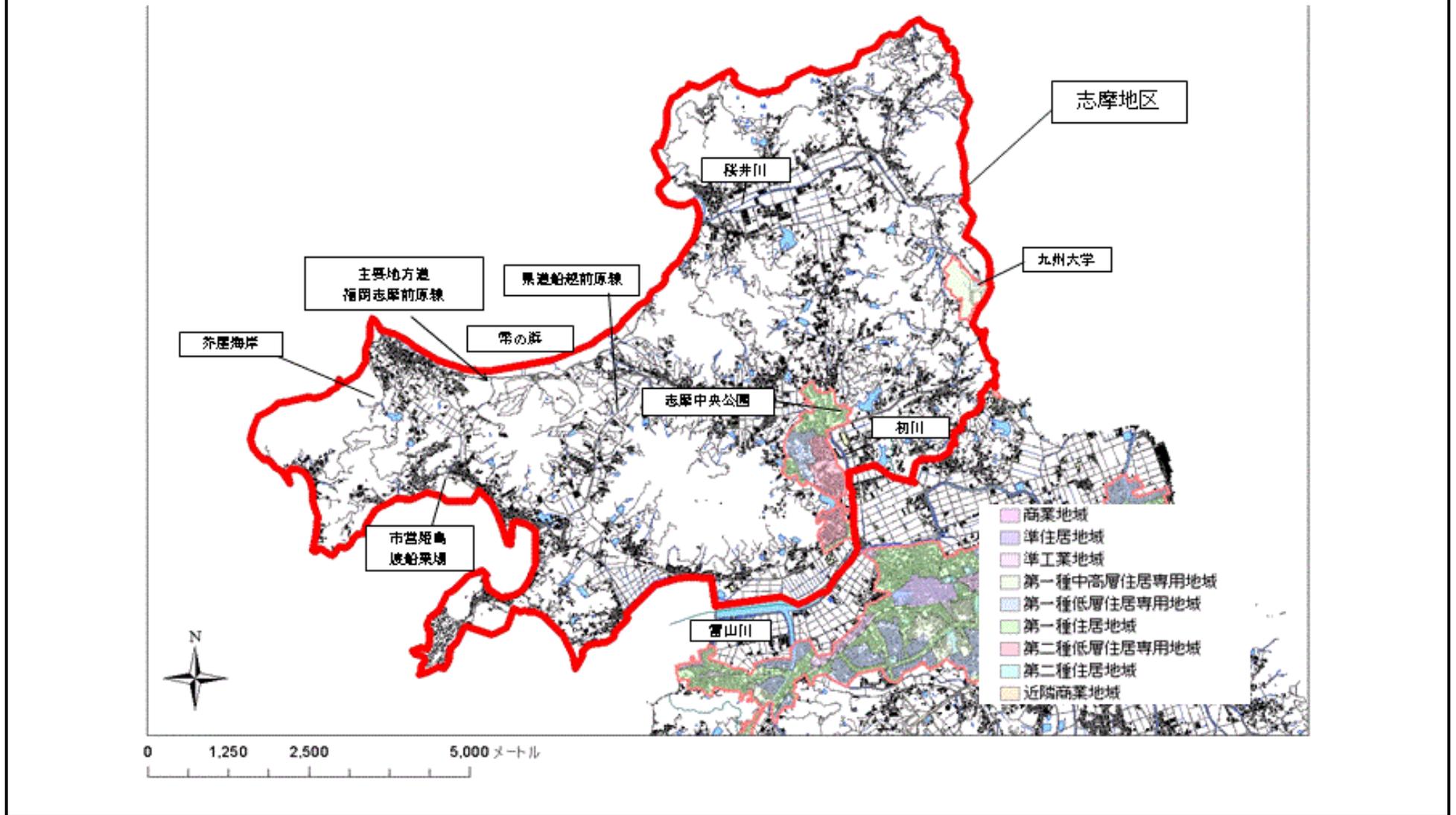
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 観光施設への道路整備を行うことにより、交通アクセス条件や安全性、歩行者の快適性の向上を図る。</p> <p>・夏場は地引網、冬場はカキ小屋などの観光客、渡船発着所(姫島)の利用者や漁港への地域住民の交通量が多い場所であるにもかかわらず、道路幅員が狭く、観光施設へのアクセス道路が未整備である。そこで、道路を整備し、地域住民および観光客の利便性と歩行者の快適性の向上を図ることで、地域の活性化を進める。</p>	<p>・道路(基幹事業/平松1号線市道整備/市)</p>
<p>整備方針2 観光資源の活用や魅力向上のため、観光地への誘導や情報発信、観光施設を整備する。また、観光客を受け入れる側である地域住民の安全・安心な住環境を向上させることにより定住を促進し、観光基盤整備の促進や交流人口の拡大を図る。</p> <p>・海岸部では、四季を通じて観光客が多いにもかかわらず、幣の浜の公衆トイレは仮設で対応している。観光客が安心して観光できる環境を創出するため、バリアフリー型公衆トイレを整備する。</p> <p>・1市2町の合併により観光PR効果を高めることができたものの、各観光地へスムーズに誘導する案内サインが未整備である。新市としてのおもてなし環境を創出するため、観光客の多い志摩地区のサインを早急に整備する。</p> <p>・海岸部の自然や特産品等の地域資源を生かし、花火や特産品販売、地域芸能などを楽しめるイベントを開催することで、市内外への観光PRを行うことができ、本市への集客効果を高める。</p> <p>・災害用備蓄倉庫も整備し、安心安全なまちづくりを行い、定住を促進することにより、観光資源の更なる整備を図り、観光地としての魅力を高める。</p>	<p>・高質空間形成施設(基幹事業/観光施設等整備/市)</p> <p>・地域生活基盤施設(基幹事業/サイン整備/市)</p> <p>・まちづくり活動推進事業(提案事業/海の祭典開催/実行委員会)</p> <p>※実行委員会(観光協会、行政区、旅館組合など)への間接補助により事業を実施。</p> <p>・地域生活基盤施設(基幹事業/災害用物資備蓄倉庫整備/市)</p>

その他

都市再生整備計画の区域

志摩地区(福岡県糸島市)	面積 5,455 ha	区域 志摩岐志、志摩芥屋、志摩野北、志摩桜井、志摩初、志摩馬場、志摩小金丸、志摩船越、志摩師吉、志摩小富士ほか
--------------	----------------	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



糸島市志摩地区(福岡県糸島市) 整備方針概要図

目標	市内にある多彩な観光資源と最新の観光需要を結びつけながら、観光客が安心して観光できる観光基盤の整備を進め、多様で魅力ある観光振興をめざす。	代表的な指標	観光入込客数(千人/年)	4,500 (H24年度) → 4,600 (H27年度)
			糸島市観光協会HPアクセス数(PV/年)	2,020,000 (H24年度) → 2,200,000 (H27年度)
			()	(年度) → (年度)

